

# ゆるり

高千穂町国民健康保険病院 広報・接遇委員会



研究発表をする佐藤小百合作業療法士（上）と  
佐藤香奈恵看護師（下）

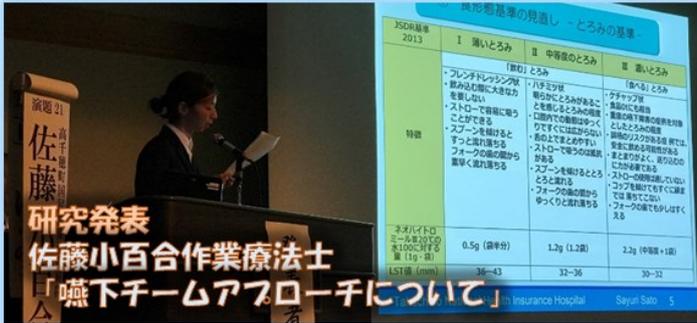
当院のホームページはこちら  
<http://www.takachiho-hp.jp/>





平成28年11月5日～6日にシーガイアコンベンションセンター（宮崎県宮崎市）で開催された第27回宮崎県国保地域医療学会（立野進学会長：都農町国民健康保険病院院長）に当院職員16名が参加しました。当院からは6演題の研究発表を行い、児玉朱美副総看護師長（2病棟看護師長兼任）が座長を務めました。また昨年開催された同学会において、佐藤由香副看護師長（2病棟）の発表した「口腔ケア専門チーム介入前後の効果検討」が優秀演題に選ばれ、表彰を受けました。

毎年開催されるこの学会で宮崎県内国保病院の現状や情報を学ぶことができます。来年は当院の久米修一病院長が学会会長を務めます。来年は今年以上の研究発表ができるよう、スタッフ一同、自己研鑽に努めたいと思います。





world diabetes day  
14 November

## 世界糖尿病デーのイベント開催！

11月14日は世界糖尿病デーです。それに伴い、午前9時から正午まで当院看護師（宮崎県糖尿病療養指導士）や管理栄養士による糖尿病イベントが1Fロビーで行われました。無料血糖測定やパンフレットの配布・健康相談などを企画し、患者さんやご家族などたくさんの方々が参加されました。「気軽に血糖を測ってもらえるから嬉しい」「気になっていたことを相談できた」「また企画してほしい」などの声が聞かれ大好評でした！



## インフルエンザの三大予防策



医療安全管理部 感染管理室より



冬に流行する代表的な感染症といえば、インフルエンザです。インフルエンザはワクチンを接種するとともに、手洗い・うがい・マスク着用の適切な感染対策を実施することで予防できます。インフルエンザウイルスは冬の環境下で48時間程度生存することができます。こまめに手洗いをするように心掛けましょう。うがいは口の中にある細菌・ウイルスなどを洗い流し、風邪予防に効果があります。マスクも咳やくしゃみなどによって生じるしぶき(飛沫)を撒き散らさないために、重要な役割を担います。

冬の流行時期には手洗い・うがい・マスク着用でインフルエンザ感染予防に努めましょう！

## 時間外受診の患者さんへ ～お知らせとお願い～

お願い

平成29年1月10日より土日祝日および夜間(夕方6時より翌朝9時まで)の院外薬局が利用できなくなりました。この間に受診された方は、院外薬局ではなく、診察室内で症状に応じた必要最小限のお薬をお渡しいたします。

当直者(医師、看護師)のみでの対応となりますので、救急を要する患者さんがいらっしゃるなど状況によってはお待ちせざる場合があります。

なお時間外(夜間・休日)に受付をされても普段飲まれているお薬をお出しすることはできません。

また、平日に受診され受け取られた院外処方箋は、院内で調剤することはできませんので院外の調剤薬局の営業時間内にお受け取りください。



【受付時間】

7:30～11:30（月～金） 及び 14:00～16:00（耳鼻咽喉科:月水金）  
15:20～16:30（小児科）

平成29年1月1日より

## 【平成28年度外来診察表】

診療科		月	火	水	木	金
内科	1診	押方	押方	押方	興梶	押方
	2診	伊瀬知	伊瀬知	興梶	伊瀬知	興梶
	3診	黒木(大)	興梶	黒木(大)	黒木(大)	黒木(大)
	4診	黒木(美)	黒木(美)	伊瀬知	黒木(美)	黒木(美)
神経内科	神経内科は第4金曜日のみ(完全予約制)					
腎臓内科	第1金曜:小倉記念病院医師、第3金曜日:九大病院医師(13:00～14:30)(完全予約制)					
外科	久米	中村/1月 有馬/2月 大内/3月	久米	担当医	中村/1月 有馬/2月 大内/3月	
整形外科	塩月	塩月	塩月	塩月	塩月	塩月
	松岡	松岡	松岡	松岡	松岡	松岡
眼科※1	(熊大眼科)	-	(熊大眼科)	-	(熊大眼科)	
小児科※2	興梶	興梶	興梶	興梶	興梶	
泌尿器科	(矢津田)	-	(村上)	-	-	
循環器科	-	(済生会医師)	-	-	(済生会医師)	
耳鼻咽喉科	甲斐	甲斐(午前のみ)	甲斐(午後のみ)	甲斐(午前のみ)	甲斐	
皮膚科	(神人)	-	(福島)	-	(熊大皮膚科)	

※1:眼科予約は、平日、月・火・木曜日の午後2時から午後5時まで、電話にて受付けています。

※2:第3金曜日の小児科は熊大医師が担当する場合があります。6月、7月、9月、10月、12月、2月、3月の第1水曜日の小児科は発達相談のため午後は休診になりますのでご注意ください。

## 連載！【地域包括ケア病棟】

### 第3回

本来は、一般病棟(3階)で症状が安定すると、早期に退院をしていただく事となっていますが、在宅での療養や社会復帰に不安があるなどの場合に、主治医が判断し患者さんとご家族に地域包括ケア病棟へ転棟の提案をさせていただきます。

入院費については、一般病棟での計算方法とは異なり「地域包括ケア病棟入院医療管理料1」を算定いたします。入院費は定額で、投薬料・注射料・処置料・検査料・入院基本料・画像診断料・リハビリテーション料等のほとんどの費用が含まれています。

治療内容によっては、一般病棟より自己負担金が増額する場合がありますが、月の医療費の負担条件が定められていますので、

一般病棟の場合と負担上限は変わりません。(75歳以上ではほとんどの場合増額はありませぬ)

入院に対する留意点は、一般的な血液検査・レントゲン検査・投薬治療は可能ですが、一般病棟で行うような高額な医薬品の投与や特殊な検査・手術などには対応できません。病状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病棟に転棟(変更)する場合があります。

